



永山南小だより

令和5年度 旭川市立永山南小学校 学校通信 9月号

10月2日発行

「出来事の名前」と「メタ認知」

旭川市立永山南小学校長 小野 敦 司



9月29日の集会では、以前読んだ本のお話をしました。『ふしぎ現象事典』（マイクロマガジン社）といいます。この本には身の回りでよく起こる、経験する、そんな事柄の名前と解説が書かれています。こんな出来事にも正式な名前が付いているなんて、思いも寄らなかった。それが、この本を読んだときの感想です。予想以上に面白かったので、子どもたちには次のように、そのいくつかを紹介しました。

今年の夏は暑かったので、アイスやかき氷を食べた人が多かったのでは、ありませんか。私も大好きで、よく食べるのですが、特にかき氷を一気に食べたとき、頭がキーンと痛くなることはありませんか。それは「アイスクリーム頭痛」といいます。うそっぽく感じますが、これは医学の本にも載っている正式名称です。原因については、二つの説がありますが、いずれにしても、ゆっくり食べると頭痛は起きにくいようです。でも、あまりゆっくりだと、とけてしまうし…



ゲームにもあきたし、そろそろ勉強するか…と思ったその瞬間に「早く勉強しなさい」と言われて、勉強をする気がなくなってしまうことはありませんか。今やろうと思ったのに人から言われると、やる気がなくなってしまう。これは「ブーメラン効果」と呼ばれる現象です。自分が考えていたのと同じことを主張されると逆の方向に意見を変えてしまう心の働きです。この問題を解決するには、誰かに言われる前にするしかないですね。

次は、私も、もう何度も目にしています。お皿や袋菓子などもそうですが、最後に一つだけ、食べ物が残ることがありますよね。これを、関西地方では「遠慮のかたまり」と呼んでいます。いつから使われるようになったのかは、はっきりしませんが、この最後の一つを、「みんなが遠慮した結果」と考えているのです。これを食べたら、みんなにどう思われるだろう?と、他人から自分がどのように見られるかが気になっている状態なので、思い切って食べてしまった方が、お皿も片付くし感謝されるかもしれませんね。

これも、よく分かります。小さな子どもがお母さんから離れる時に、人形やタオルをお母さんの代わりにそばに置いて安心することがあります。これを「安心毛布」と呼び、物によって環境の変化に対する不安をやわらげているのです。みなさんにとっての安心毛布は何ですか。私は「犬のぬいぐるみ」でした。



小さいとき、夜にお隣まで回覧板をもっていくのが嫌でした。それは、壁のシミや木の葉が、人の顔に見えて、怖かったからです。人間の習性で、点が三つ集まり、逆三角形の形に並ぶと、顔であると認識してしまいます。このことを「シミュラクラ現象」といいます。これは、東川の写真展で見付けた家の壁の写真ですが、人の顔に見えてきませんか。

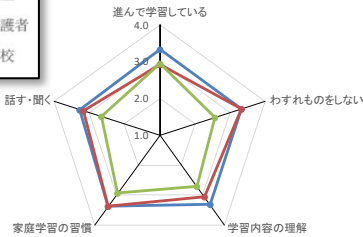
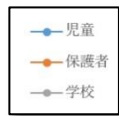


今まで知らなかったけれど、そんな名前が付いていたのか。そう思ったものはありましたか。このように身の回りで起こる出来事についている名前を知るのは、楽しいですよ。その他にも、名前を知ることの良いことがあると考えています。それは、今の自分の状態を客観的に見ることでできるきっかけになると思うからです。今の自分の考えや行動を、もう一人の自分が、外から眺めているような感覚です。このことを難しい言葉だと、メタ認知と言うのですが、これができることは、とても大事なことです。じつは、普段から皆さんも普通にこのようなことはしていますよ。間違いはないか、もう一度、テストを見直したり、友達とケンカをしてしまったとき、相手や自分の言い分を、冷静になって考え直したりしませんか。このような力もメタ認知といえます。



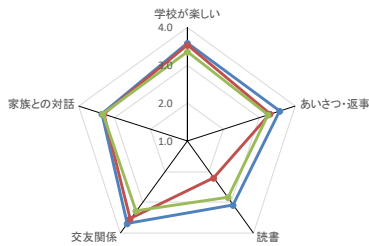
教育活動にかかわるアンケート調査の結果について

1学期末にご協力いただいたアンケートの結果について、児童、学校のアンケートの結果と合わせてお知らせいたします。ご協力ありがとうございました。



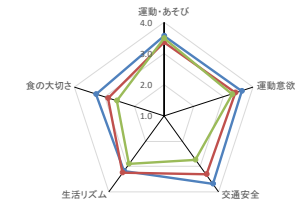
学習について

学習についての評価は、「学習内容の理解」「忘れ物」「家庭学習」「話す・聞く」の項目において、児童と保護者、学校で差が見られました。保護者や学校が捉えている姿に近づいていけるよう、良い学習習慣を身に付けさせていく必要があります。



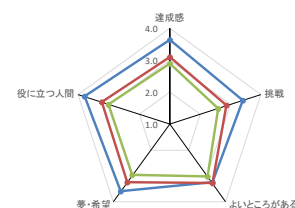
豊かな心・社会性

読書活動には課題があります。全国学力・学習状況調査や生活リズムチェックシート、LSチャレンジシートでも明らかになりましたが、メディア（ゲーム・動画・SNS等）に触れる時間とも関連しています。学校からの啓発や家庭で時間的な約束を決めるなどの取組も必要です。



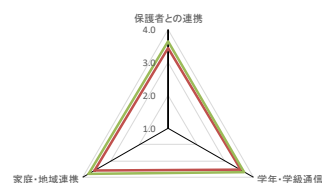
健康・安全

「食」と「生活リズム」「交通安全」については、課題と捉えることができます。生活リズムチェックシートや、LSチャレンジシートの取組、食育などの指導、交通ルールの指導とも合わせて、改善していく必要があります。



自己有用感

ほとんどの項目において、児童の評価が高くなっています。ただ、保護者や学校との差が見られますので、目指す姿を明確に示したり、場を設定して適切に評価したりするなどして、子どもたちと大人の意識を近づけていく必要があります。



学校と家庭

2者とも高評価でした。今後も、できる限りの方法を活用し、保護者、地域の皆様と連携を図って参りたいと考えています。

昨年度末評価から上がった項目

・生活リズム
・保護者対応
・通信等
・家庭地域連携

昨年度末評価から下がった項目

・関心・意欲
・学習内容の理解
・交通安全
・好き嫌い
・挑戦する姿勢

今後の取組に関わって

○関心・意欲

- ・学習することの必要感や楽しさを感じ取ることができる授業改善を行っていきます。
- ・個別の学習目標の設定や学習の振り返りを丁寧に行っていきます。

○学習内容の理解

- ・課題や学習していることについてしっかりと向き合うためにも、落ち着いた雰囲気の中できちんと話を聞いたり、理解したことを伝えたりする場を多くしていきます。
- ・教材提示の仕方や互いの考えの伝え方を工夫し、「できた」「わかった」を増やしていきます。
- ・少人数指導を理解度に合わせて行い、きめ細かな指導をしていきます。

○交通安全

- ・交通ルールや危険の予測も含めた子どもの状況判断力向上に関わる指導をしていきます。
- ・関係機関とも連携し、放課後の見回りを強化していきます。

○食の大切さ

- ・食品ロスについて考えるなど、SDGsの観点からの食育や食の大切さに関わる教育を進めていきます。

○挑戦する姿勢

- ・「結果」だけではなく「過程」の中でも適切な評価をし、「挑戦することのよさ」を価値付けながら、成功体験を積み重ねていきます。

新体力テストの結果から体力向上プログラムの策定

1 新体力テストって何??

「新体力テスト」とは、文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、体育・スポーツの指導の資料を得ることで、体力の向上を目的とし、毎年実施している調査です。

本校では、全国調査対象である5年生の実施と同時期に、他の学年においても実施しています。調査結果をもとに、本校の傾向を分析し、全校児童の体力向上につなげるために継続した取組を実施していきます。

2 実施時期とテスト項目

今年度は6月に実施しました。

主な項目は下記のとおりです。

- ①握力・上体起こし ④ソフトボール投げ ⑦立ち幅とび
- ②長座体前屈 ⑤20m シャトルラン
- ③反復横とび ⑥50m 走

3 テストで分かること

新体力テストにチャレンジすることによって、筋力（握力）、敏捷性（反復横とび）、跳躍力（立ち幅とび）、柔軟性（長座体前屈）、筋持久力（上体起こし）、全身持久力（20m シャトルラン）が分かります。

現在の自分の体力・運動能力がどのくらいあるのかが確認できるとともに、5段階（A～E）の評価も受けられます。

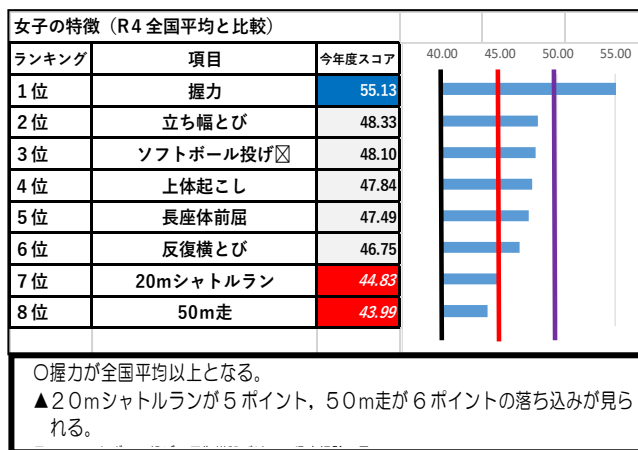
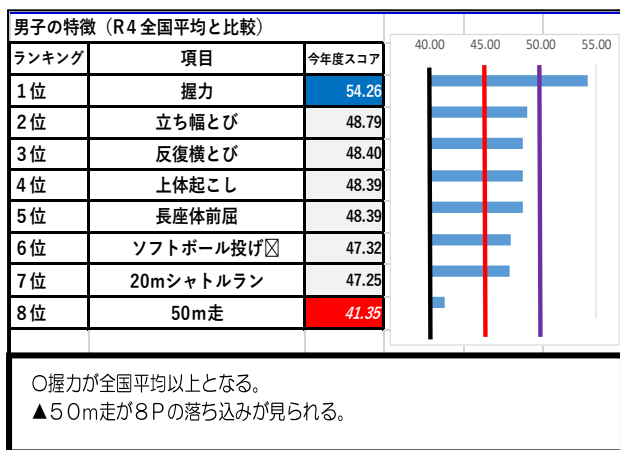
（結果については持ち帰っております）

4 各種目の全国平均値

種目（握力・反復横とび・立ち幅とび等）ごと・年齢区分ごとの全国平均値を文部科学省のホームページで公開していますので参考にしてください。



5 本校の結果（R4 全国平均を50とするTスコアで表示してあります）と傾向



45～50：今後の体育科の学習や体力づくり等で強化が求められる項目です。

45 未満：体力向上の改善が求められるレベル。体育科の授業はもちろんのこと、計画的に改善プログラムの作成が求められます。

6 本校としての課題

本校は昨年に引き続き、男女ともに50m走の数値が低い傾向にあります。これは、コロナ禍による体力の低下との関係が少なからずあると受け止めています。学校としては、体育科で授業の始めに走る要素の活動に取り組むなど、体づくり運動を活用し、各学年での強化を目指すとともに、運動の楽しさを伝えていきます。また、休み時間を利用し、全員遊びや外での遊びを積極的に推奨していきます。

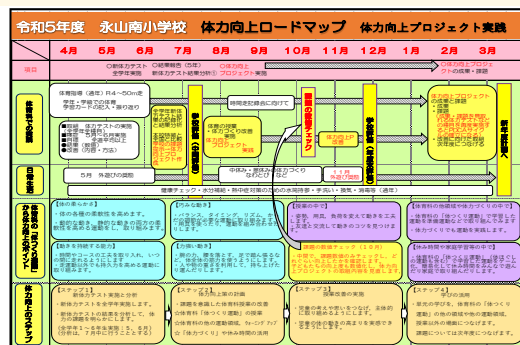
7 体力向上ロードマップの作成、実施（右図参照）

体力向上ロードマップを作成しました。永山南小学校HPに掲載しますが、体力向上のステップを全学年が共通理解し、学校課題として計画的に取り組んでいきます。
（R5永山南小体力向上ロードマップ→QRコード）



8 ご家庭への協力の依頼

生活リズムチェックシートの取組がありましたが、運動の継続的な取組（外遊び、軽い運動の習慣化）が課題です。一緒に考えていきませんか？



よりよい生活習慣の定着に向けて～生活リズムチェックシートの取組～

夏休み明けに今年度2回目の「生活リズムチェックシート」を、各ご家庭にご協力いただき、お子さんと一緒に取り組んでいただきました。夏休み明けということもあり、生活リズムを元に戻すことが非常に大変だったことが振り返りやお家の方のコメントからも分かりました。前回に比べ、朝食をしっかりと食べてくる子が増えたことや、学習時間もそれぞれの学年で少しずつ増えていることが分かりました。また、メディアに触れる時間が、低中学年では減ってきているものの、高学年では60分以上触れている割合が増えています。「読書の秋」という季節となりました。この機会を活用いただき、メディアよりも本に触れる機会を少しでもつづけていただければと思います。3回目は冬休み明けに行います。ご協力よろしくお願いいたします。

9月の南っ子の様子

避難訓練



全校児童が、「おはしも」を守り、火災時の対応について真剣に練習することができました。

クリーンセンター出前授業

旭川市クリーンセンターの皆さんにお越しいただき、ごみの積み込み体験や、ごみ収集車の見学をさせていただきました。荷台部分の構造が見える収集車を目にし、ごみの収集作業についての理解を深めることができました。



時間走記録会



体育委員会主催のドッジボール大会が行われています。白熱した戦いが繰り広げられ、体育館は歓声がいっぱいに響いています！

清々しい秋空の下、日頃の取組の成果を発揮すべく、それぞれが時間内に目標とする距離を、頑張って走りきることができました。

ドッジボール大会



6年生 修学旅行

天候が心配されましたが、みんな元気に楽しく活動しました。



1日目は「小樽水族館」と「小樽運河周辺」にて班研修で学びを深め、ホテルではプールや部屋で友達との交流も深めました。2日目は「北海道開拓の村」にて



明治・大正期の建物などを見学し、「北海道グリーンランド」にて、様々なアトラクションで友達と楽しく活動しました。決まりや時間を守り、自分たちで考え行動するなど、最高学年として立派な姿もたくさん見られました。



高砂牛を食べました



旭川市のブランド牛「旭高砂牛」を使った給食が4年に一度提供されます。本校は今年度、その年に当たりました。生産者である「ひかり牧場」の松浦光さんをお招きし、給食時間中に、生産の様子についてお話をうかがい、おいしい牛丼をいただきました。



8・9月のPTA活動 前期ご協力ありがとうございました！

各ボランティア活動

花壇整備やガラス拭き交通安全など今年度も精力的に活動いただきました。本当にありがとうございました。

今年度のボランティア活動も残りわずかとなりますが、引き続きご協力をお願いいたします。



10月の行事予定

- 2日(月) 交通安全ボランティア登校時・下校時
- 3日(火) 読み聞かせ(4年生)
- 6日(金) クラブ◎
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 旭川市教育研究大会(臨時休業日)
- 12日(木) PTA花壇片付け作業
- 13日(金) 放課後巡視
- 16日(月) 口座引き落とし日
- 17日(火) 読み聞かせ(3年生)
- 24日(火) 読み聞かせ(1年生)
- 25日(水) 学習発表会(2, 4, 6年生)
- 27日(金) 学習発表会(1, 3, 5年生)
- 30日(月) 全校集会◎ 委員会◎
朝読書強化週間(～11/1)
- 31日(火) 読み聞かせ(2年生)